

壹仟叁佰年历史
拾万捌仟里智慧

资治通鉴

「北宋」司马光／编撰

领导智慧

毛泽东读过17遍的一部书



中国华侨出版社

歷代通鑑輯年因史
地方國序重智慧

資治通鑒

（宋）司馬光撰

漢學智慧

（宋）司馬光撰

资治通鉴

第一册

司马光 编撰

中国华侨出版社

图书在版编目(CIP)数据

《资治通鉴》/司马光编撰. —北京:中国华侨出版社,2002.10

ISBN 7-80120-669-X

I. 资… II. 司… III. ①领导艺术②资治通鉴—研究 IV. C933.2

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2002)第 078683 号

● **资治通鉴**

编 撰/司马光

责任编辑/杨 郁

经 销/新华书店

开 本/850×1168 毫米 1/32 印张/150 字数/4000 千字

印 刷/北方工业大学印刷厂

版 次/2003 年 1 月第 1 版 2003 年 1 月第 1 次印刷

印 数/8000 册

书 号/ISBN 7-80120-669-X/K·149

定 价/298.00 元(全七册)

中国华侨出版社 北京安定路 20 号院 邮编 100029

E-mail: overseashq@sina.com

发行部:(010)64443051 传真:64443051

出版说明

《资治通鉴》成书于北宋，毛泽东却读了17遍，对它的评价也高。

《毛泽东的读书生活》（龚育之等著，三联书店）一书里讲到，1954年冬天，毛泽东与吴晗谈起整理标点《资治通鉴》时说：这部书写得好，尽管立场观点是封建统治阶级的，但叙事有法，历代兴衰治乱本末毕具，我们可以批判地读这部书，借以熟悉历史事件，从中吸取经验教训。

毛泽东最喜爱哪部书？

以单部著作言，当是《资治通鉴》。《二十四史》是由24部独立的史书组成，毛泽东最喜欢它；但如果拆分了，做24部书，则都不及《资治通鉴》。在他的书房里，《资治通鉴》既有线装本，也有平装本——1956年上海古籍出版社标点整理。两种本子都有毛泽东圈点批画的手迹。1975年5月，他跟护士孟锦云说，《资治通鉴》他读过17遍（见《毛泽东读书笔记解析》1104页，陈晋主编，广东人民出版社。一说7遍，见《毛泽东读书生涯》240页，王炯华著，长江文艺出版社。说7遍者，可能是没有包括毛泽东读过的《资治通鉴》的各种删节本）。

《资治通鉴》对毛泽东的影响有多大？

1936年，他对美国记者斯诺说：“并且，我读了《御批通鉴辑览》以后，觉得还是自学比较好。6个月后，我离开了学校。”（见斯诺写的《毛泽东自传·第二章》）毛泽东退学，一个原因是他不喜欢校规，另一个原因就是《御批通鉴辑览》的影响。清

朝乾隆皇帝读《资治通鉴》，亲自诏谕、批点了800余条，由大臣汇集整理，就是毛泽东看的《御批通鉴辑览》，也就是说，《御批通鉴辑览》是《资治通鉴》的一个删节本。这大概是毛泽东第二次读到《资治通鉴》。第一次是他在私塾读的，《纲鉴类纂》，过去私塾常用的中国通史的简明教本。

在跟孟锦云谈到《资治通鉴》时，他说：

“每读一遍都获益匪浅。一部难得的好书噢。”

“《通鉴》写战争，真是写得神采飞扬，传神得很，充满了辩证法，例子很多呐。”

“《通鉴》是一部值得再读的好书。有人说，搞政治离不开历史知识。还有人说，搞政治离不开权术离不开阴谋。甚至还有人说，搞政治就是搞鬼。我想送给这些人一句话，不过不是我说的，我是借花献佛。那是鲁迅先生说的：‘捣鬼有术，也有效，然而有限，所以以此成大事者，古来无有。’”

以上是我们出版这部《资治通鉴》的一个原由。

需要特别说明的是，文中黑体的“领导智慧”是这部书的一个特色，原著并没有，其他各家本子也没有。这么处理，只是想给那些不习惯于阅读中国古文的读者提供一个方便。

有不妥当的地方，恳请批评指正。

目 录

卷一	周纪一	(1)
卷二	周纪二	(14)
卷三	周纪三	(27)
卷四	周纪四	(39)
卷五	周纪五	(54)
卷六	秦纪一	(69)
卷七	秦纪二	(85)
卷八	秦纪三	(100)
卷九	汉纪一	(115)
卷十	汉纪二	(128)
卷十一	汉纪三	(141)
卷十二	汉纪四	(155)
卷十三	汉纪五	(171)
卷十四	汉纪六	(186)
卷十五	汉纪七	(199)
卷十六	汉纪八	(213)
卷十七	汉纪九	(230)
卷十八	汉纪十	(244)
卷十九	汉纪十一	(260)
卷二十	汉纪十二	(275)
卷二十一	汉纪十三	(290)
卷二十二	汉纪十四	(306)
卷二十三	汉纪十五	(320)

卷二十四	汉纪十六	(332)
卷二十五	汉纪十七	(348)
卷二十六	汉纪十八	(363)
卷二十七	汉纪十九	(375)
卷二十八	汉纪二十	(388)
卷二十九	汉纪二十一	(402)
卷三十	汉纪二十二	(418)
卷三十一	汉纪二十三	(434)
卷三十二	汉纪二十四	(449)
卷三十三	汉纪二十五	(460)
卷三十四	汉纪二十六	(473)
卷三十五	汉纪二十七	(485)
卷三十六	汉纪二十八	(499)
卷三十七	汉纪二十九	(512)
卷三十八	汉纪三十	(528)
卷三十九	汉纪三十一	(543)
卷四十	汉纪三十二	(560)
卷四十一	汉纪三十三	(576)
卷四十二	汉纪三十四	(593)
卷四十三	汉纪三十五	(609)
卷四十四	汉纪三十六	(626)
卷四十五	汉纪三十七	(643)
卷四十六	汉纪三十八	(657)
卷四十七	汉纪三十九	(672)
卷四十八	汉纪四十	(686)
卷四十九	汉纪四十一	(701)
卷五十	汉纪四十二	(717)
卷五十一	汉纪四十三	(735)
卷五十二	汉纪四十四	(753)

卷五十三	汉纪四十五	(769)
卷五十四	汉纪四十六	(784)
卷五十五	汉纪四十七	(799)
卷五十六	汉纪四十八	(814)
卷五十七	汉纪四十九	(829)
卷五十八	汉纪五十	(845)
卷五十九	汉纪五十一	(860)
卷六十	汉纪五十二	(877)
卷六十一	汉纪五十三	(894)
卷六十二	汉纪五十四	(910)
卷六十三	汉纪五十五	(927)
卷六十四	汉纪五十六	(942)
卷六十五	汉纪五十七	(954)
卷六十六	汉纪五十八	(969)
卷六十七	汉纪五十九	(983)
卷六十八	汉纪六十	(995)
卷六十九	魏纪一	(1009)
卷七十	魏纪二	(1027)
卷七十一	魏纪三	(1043)
卷七十二	魏纪四	(1056)
卷七十三	魏纪五	(1074)
卷七十四	魏纪六	(1089)
卷七十五	魏纪七	(1105)
卷七十六	魏纪八	(1123)
卷七十七	魏纪九	(1137)
卷七十八	魏纪十	(1153)
卷七十九	晋纪一	(1168)
卷八十	晋纪二	(1187)
卷八十一	晋纪三	(1203)

卷八十二	晋纪四	(1220)
卷八十三	晋纪五	(1235)
卷八十四	晋纪六	(1248)
卷八十五	晋纪七	(1261)
卷八十六	晋纪八	(1276)
卷八十七	晋纪九	(1292)
卷八十八	晋纪十	(1310)
卷八十九	晋纪十一	(1327)
卷九十	晋纪十二	(1345)
卷九十一	晋纪十三	(1359)
卷九十二	晋纪十四	(1374)
卷九十三	晋纪十五	(1389)
卷九十四	晋纪十六	(1405)
卷九十五	晋纪十七	(1423)
卷九十六	晋纪十八	(1440)
卷九十七	晋纪十九	(1458)
卷九十八	晋纪二十	(1476)
卷九十九	晋纪二十一	(1492)
卷一百	晋纪二十二	(1510)
卷一百零一	晋纪二十三	(1528)
卷一百零二	晋纪二十四	(1546)
卷一百零三	晋纪二十五	(1562)
卷一百零四	晋纪二十六	(1577)
卷一百零五	晋纪二十七	(1594)
卷一百零六	晋纪二十八	(1612)
卷一百零七	晋纪二十九	(1630)
卷一百零八	晋纪三十	(1647)
卷一百零九	晋纪三十一	(1666)
卷一百一十	晋纪三十二	(1679)

卷一百一十一	晋纪三十三	(1692)
卷一百一十二	晋纪三十四	(1709)
卷一百一十三	晋纪三十五	(1726)
卷一百一十四	晋纪三十六	(1742)
卷一百一十五	晋纪三十七	(1760)
卷一百一十六	晋纪三十八	(1778)
卷一百一十七	晋纪三十九	(1796)
卷一百一十八	晋纪四十	(1810)
卷一百一十九	宋纪一	(1827)
卷一百二十	宋纪二	(1844)
卷一百二十一	宋纪三	(1863)
卷一百二十二	宋纪四	(1880)
卷一百二十三	宋纪五	(1899)
卷一百二十四	宋纪六	(1917)
卷一百二十五	宋纪七	(1936)
卷一百二十六	宋纪八	(1954)
卷一百二十七	宋纪九	(1966)
卷一百二十八	宋纪十	(1980)
卷一百二十九	宋纪十一	(1997)
卷一百三十	宋纪十二	(2012)
卷一百三十一	宋纪十三	(2023)
卷一百三十二	宋纪十四	(2041)
卷一百三十三	宋纪十五	(2054)
卷一百三十四	宋纪十六	(2071)
卷一百三十五	齐纪一	(2089)
卷一百三十六	齐纪二	(2108)
卷一百三十七	齐纪三	(2125)
卷一百三十八	齐纪四	(2141)
卷一百三十九	齐纪五	(2150)

卷一百四十	齐纪六	(2167)
卷一百四十一	齐纪七	(2184)
卷一百四十二	齐纪八	(2198)
卷一百四十三	齐纪九	(2211)
卷一百四十四	齐纪十	(2222)
卷一百四十五	梁纪一	(2239)
卷一百四十六	梁纪二	(2257)
卷一百四十七	梁纪三	(2272)
卷一百四十八	梁纪四	(2288)
卷一百四十九	梁纪五	(2305)
卷一百五十	梁纪六	(2321)
卷一百五十一	梁纪七	(2338)
卷一百五十二	梁纪八	(2350)
卷一百五十三	梁纪九	(2362)
卷一百五十四	梁纪十	(2371)
卷一百五十五	梁纪十一	(2386)
卷一百五十六	梁纪十二	(2403)
卷一百五十七	梁纪十三	(2420)
卷一百五十八	梁纪十四	(2437)
卷一百五十九	梁纪十五	(2455)
卷一百六十	梁纪十六	(2466)
卷一百六十一	梁纪十七	(2477)
卷一百六十二	梁纪十八	(2493)
卷一百六十三	梁纪十九	(2510)
卷一百六十四	梁纪二十	(2523)
卷一百六十五	梁纪二十一	(2541)
卷一百六十六	梁纪二十二	(2556)
卷一百六十七	陈纪一	(2572)
卷一百六十八	陈纪二	(2590)

卷一百六十九	陈纪三	(2608)
卷一百七十	陈纪四	(2627)
卷一百七十一	陈纪五	(2647)
卷一百七十二	陈纪六	(2667)
卷一百七十三	陈纪七	(2682)
卷一百七十四	陈纪八	(2699)
卷一百七十五	陈纪九	(2712)
卷一百七十六	陈纪十	(2731)
卷一百七十七	隋纪一	(2746)
卷一百七十八	隋纪二	(2763)
卷一百七十九	隋纪三	(2780)
卷一百八十	隋纪四	(2797)
卷一百八十一	隋纪五	(2814)
卷一百八十二	隋纪六	(2830)
卷一百八十三	隋纪七	(2847)
卷一百八十四	隋纪八	(2864)
卷一百八十五	唐纪一	(2880)
卷一百八十六	唐纪二	(2897)
卷一百八十七	唐纪三	(2913)
卷一百八十八	唐纪四	(2930)
卷一百八十九	唐纪五	(2946)
卷一百九十	唐纪六	(2963)
卷一百九十一	唐纪七	(2981)
卷一百九十二	唐纪八	(3000)
卷一百九十三	唐纪九	(3018)
卷一百九十四	唐纪十	(3037)
卷一百九十五	唐纪十一	(3055)
卷一百九十六	唐纪十二	(3072)
卷一百九十七	唐纪十三	(3087)

卷一百九十八	唐纪十四	(3104)
卷一百九十九	唐纪十五	(3121)
卷二百	唐纪十六	(3140)
卷二百零一	唐纪十七	(3158)
卷二百零二	唐纪十八	(3177)
卷二百零三	唐纪十九	(3196)
卷二百零四	唐纪二十	(3216)
卷二百零五	唐纪二十一	(3234)
卷二百零六	唐纪二十二	(3251)
卷二百零七	唐纪二十三	(3270)
卷二百零八	唐纪二十四	(3288)
卷二百零九	唐纪二十五	(3307)
卷二百一十	唐纪二十六	(3326)
卷二百一十一	唐纪二十七	(3345)
卷二百一十二	唐纪二十八	(3363)
卷二百一十三	唐纪二十九	(3382)
卷二百一十四	唐纪三十	(3399)
卷二百一十五	唐纪三十一	(3418)
卷二百一十六	唐纪三十二	(3437)
卷二百一十七	唐纪三十三	(3453)
卷二百一十八	唐纪三十四	(3469)
卷二百一十九	唐纪三十五	(3486)
卷二百二十	唐纪三十六	(3501)
卷二百二十一	唐纪三十七	(3518)
卷二百二十二	唐纪三十八	(3534)
卷二百二十三	唐纪三十九	(3551)
卷二百二十四	唐纪四十	(3568)
卷二百二十五	唐纪四十一	(3587)
卷二百二十六	唐纪四十二	(3606)

卷二百二十七	唐纪四十三	(3623)
卷二百二十八	唐纪四十四	(3640)
卷二百二十九	唐纪四十五	(3656)
卷二百三十	唐纪四十六	(3670)
卷二百三十一	唐纪四十七	(3684)
卷二百三十二	唐纪四十八	(3699)
卷二百三十三	唐纪四十九	(3717)
卷二百三十四	唐纪五十	(3732)
卷二百三十五	唐纪五十一	(3749)
卷二百三十六	唐纪五十二	(3766)
卷二百三十七	唐纪五十三	(3782)
卷二百三十八	唐纪五十四	(3799)
卷二百三十九	唐纪五十五	(3816)
卷二百四十	唐纪五十六	(3833)
卷二百四十一	唐纪五十七	(3849)
卷二百四十二	唐纪五十八	(3865)
卷二百四十三	唐纪五十九	(3879)
卷二百四十四	唐纪六十	(3897)
卷二百四十五	唐纪六十一	(3913)
卷二百四十六	唐纪六十二	(3930)
卷二百四十七	唐纪六十三	(3947)
卷二百四十八	唐纪六十四	(3963)
卷二百四十九	唐纪六十五	(3981)
卷二百五十	唐纪六十六	(3999)
卷二百五十一	唐纪六十七	(4016)
卷二百五十二	唐纪六十八	(4031)
卷二百五十三	唐纪六十九	(4049)
卷二百五十四	唐纪七十	(4066)
卷二百五十五	唐纪七十一	(4083)

卷二百五十六	唐纪七十二	(4100)
卷二百五十七	唐纪七十三	(4117)
卷二百五十八	唐纪七十四	(4134)
卷二百五十九	唐纪七十五	(4150)
卷二百六十	唐纪七十六	(4167)
卷二百六十一	唐纪七十七	(4184)
卷二百六十二	唐纪七十八	(4199)
卷二百六十三	唐纪七十九	(4215)
卷二百六十四	唐纪八十	(4230)
卷二百六十五	唐纪八十一	(4243)
卷二百六十六	后梁纪一	(4259)
卷二百六十七	后梁纪二	(4276)
卷二百六十八	后梁纪三	(4294)
卷二百六十九	后梁纪四	(4312)
卷二百七十	后梁纪五	(4329)
卷二百七十一	后梁纪六	(4346)
卷二百七十二	后唐纪一	(4360)
卷二百七十三	后唐纪二	(4376)
卷二百七十四	后唐纪三	(4392)
卷二百七十五	后唐纪四	(4408)
卷二百七十六	后唐纪五	(4423)
卷二百七十七	后唐纪六	(4438)
卷二百七十八	后唐纪七	(4456)
卷二百七十九	后唐纪八	(4470)
卷二百八十	后晋纪一	(4488)
卷二百八十一	后晋纪二	(4503)
卷二百八十二	后晋纪三	(4518)
卷二百八十三	后晋纪四	(4536)
卷二百八十四	后晋纪五	(4552)

卷二百八十五	后晋纪六	(4567)
卷二百八十六	后汉纪一	(4582)
卷二百八十七	后汉纪二	(4597)
卷二百八十八	后汉纪三	(4612)
卷二百八十九	后汉纪四	(4628)
卷二百九十	后周纪一	(4644)
卷二百九十一	后周纪二	(4661)
卷二百九十二	后周纪三	(4678)
卷二百九十三	后周纪四	(4693)
卷二百九十四	后周纪五	(4709)